

名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT No. 1231

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

<本年度会長方針>

リノベーション renovation

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 木村 光徳 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 渡辺 観永 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org

第 1443 回例会

ロータリー財団月間
平成25年11月22日(金)

30周年記念・
シンボル桜のお披露目

日本・ネパール小学生文化交流

於 大須観音・大須小学校
会員 64名

出席計算数

56名中39名出席

出席率 69・64%

前々回出席率 90・57%

例会プログラム

★第一部：大須観音境内&講堂

11時15分

記念碑披露&シンボル桜植樹

12時00分 例会&食事

★第二部：大須小学校

13時30分
マルチルーム&体育館

14時20分
インターネットによる
日本・ネパール小学生文化交流

OSUフィードバックを
使った作品展覧会、解散

ゲスト

猿投の森づくりの会 代表 和田 豊司さん

OSU山桜フィードバックリーダー
林 信孝さん

海外在住ネパール人協会日本支部
会長・中部名古屋みらいRC親睦
活動委員長
ポカレル パラス マニョン
中部名古屋みらいRC
初代会長 川口 豊さん

ニコソックス

中部名古屋みらいRC・川口 豊さんよりご祝儀をいただきました。今日は長丁場です。皆様お世話になります。よろしくお祈りします。

木村 光徳

ネパール最高でしたー渡辺 観永
30周年記念事業の成功を祈願します。

岡部 快圓

猿投の森づくりの会の方々をお招きして。尾上 昇・近藤宏一郎
未永くきれいな花が咲き続けますように。

大原 敏正

カトマンス・マテ村より無事帰国
ありがとうございます。

柴岡 正将

周年事業が始まりました。よろしくお祈りします。堀江 英弥
30周年記念事業の成功を願って。

浅野 彰・丹下 富博

杉浦 令淑・田崎 雅三

杉本 英夫・伊藤 与則

前田 隆久・小野 定男

鬼頭 茂成・春日井和良

林 順治

しだれ桜と銀杏の成長を願います。

宇野 史仁・岡村 隆徳

会長挨拶

会長 木村 光徳

今年度の国内外での奉仕事業もいよいよ佳境に入っております。OSU山桜の森PJは今年4月17日のキックオフ以来、沢山のメンバーの方々に参加を頂き、着々と整備をして頂いています。



また海外での奉仕事業であるネパールの電気が通っていない地域でのソーラー発電機50基の設置事業も、10月には全て完成し、先週の11月13日〜17日の旅程で、会員10名、家族2名、会員友人1名の総勢13名でネパールを訪れ、14日のマテ村での贈呈式典に参加してきました。

マテ村は人口1500〜2000人程度の小さな村ですが、殆んど全員が参加しての盛大な式典で、村の人々の感謝の気持ちが溢れ、特に、子供達の楽しそうな姿が印象的で、メンバー全員が暖かい気持ちで帰途に就く事が出来ました。ネパールでの式典に参加して頂いた方々、支援品・支援金を提供頂いた皆様に心からの感謝を申し上げます。

そして今日は、午前中に名古屋大須RC 30周年記念シンボル桜の植樹祭に参加して頂き、昨年度の世界平和フォーラム広島大会で配布された被曝銀杏を見て頂き、例会に参加、そして例会終了後大須小学校へ移動して、大須小学校とネパール・メールタラの児童とのインターネットを利用した交流

お礼の挨拶

大須観音堂主 岡部 快圓

本日は名古屋大須RC 30周年記念事業として、当山にしだれ桜を奉納賜り、誠にありがとうございます。当山は平素名古屋市民のこころの拠り所として親しまれていますが、今般にしだれ桜を奉納頂いたことで、来春には満開の花で多くの参拝者のこころを和



ませてくれること存じます。

桜は日本人には特別な想いがあ
り、わたくしも何度か海外の激戦
地に慰霊法要の為に訪れています
が、兵隊さんは必ず桜に似た花を
見つけ名刺を付けて、日本の春を
故郷を思ひだしました。

例えば太平洋諸島では「南方桜」、
遠くモンゴルでは「ノモンハン桜」
と。しかし残念ながら、多くの方々
の日本の春を楽しもう想いは一度と
叶いませんでした。

日本人のこころの拠り所である
さくらを大切に育て、多くの参拜
者に楽しんでいただきます。あり
がとうございました。 合掌



記念碑披露&シンボル桜植樹挨拶 30周年実行委員長 堀江 英弥



本日、
猿投の森つ
くりの会
代表 和田
豊司様、O
SU山桜フ
ィールドP
Jリーダ
林 信孝様
中部名古屋
みらいRC
川口 豊様
ポカレル
パラス・マ
二様をこ
出席いただき、シンボル桜のお披露
目が出てくることを大変うれしく
思っております。ご出席誠にあり
がとうございます。

3年前から30周年事業のプロ
ジェクトとして何が相応しいか、
何を行うか、協議し準備してまい
りました。その中の一つがこのプ
ロジェクトです。日本人にとって
桜の咲く場所は、憩い場所であり、
豊かな自然と、平和の象徴でもあ
ります。そのような桜を中心に計
画していく中で、「猿投の森つくり
の会」と出会い、今年1月からた
び重なる会議を聞く中で、共同で
「山桜フィールド」を整備してい
くことになりました。「猿投の森つ
くりの会」の皆様には、春また浅

い頃から、真夏の暑い時も、毎週
2日整備をしていただき、よつゆ
く形もできてまいりました。感謝
申し上げます。

「OSU山桜フィールド」はこ
こから車で1時間ほど東に行った
奥有林・東大研修林に隣接したと
ころにあり、自然豊かな、生物多
様性に富む人と生物が共生できる
エリアです。春になれば新緑の中
山桜の咲き乱れるフィールドにメ
ンバー・家族と一緒に訪れたいと
思います。

この様な「OSU山桜フィール
ド」で大須地域の方々と自然の大
切さ、森を守り続ける大切さを後
世に伝えたいと活動しています。
そのシンボルツリーとして大須観
音の境内にしたら桜を植樹し、本
日皆様に銘板と共に披露目する
ことができました。

また、このあと大須小学校にお
いて大須小学校の生徒とネパールの
小学生とを「コンピュータ回線で
結んで、豊かな日本の子供たちが、
ややもすると文明から取り残され
そうなネパールの子供たちが国際
交流を行い、文化の違いを感じ取
ってもらえる機会とします。

また、自然の大切さを学ぶ機会
として、猿投の森で出た間伐材を
使って、生徒らの感性豊かに作り
上げた「何でもアート・大須美術
館」もご覧下さい。
最後に、本日の設営にご協力的

ただい宇野君・社会奉仕委員会や
職業奉仕委員会の皆さんに御礼申
し上げて、挨拶とさせていただきます。
ます。

インターネットによる 日本・ネパール小学生文化交流



OSUフィールド間伐材を使った作品展 「何でもアート・大須美術館」

30周年実行副委員長 前田 隆久

22日、ネパールの小学生とのイ
ンターネット交流の後、大須小学
校で行われている作品展「何でも
アート・大須美術館」を見学しま



した。ここで使用されている木材
は、OSU山桜フィールドの森の
作業で出る間伐材を使用してお
り、大須小学校の先生方が熱心
に森に通って、選定し搬入した木材
です。

12月12日(木) 例会の案内
SPEAK OUT DAY
12月19日(木) 例会の案内
例会発表
同日 18時より受付
家族忘年会

広報委員会
小澤 幸男・青木 靖高
飯田 昭夫・杉浦 令淑
*本文は、原則、頂いた
原稿を転載しています。